

令和 8 年 第 1 回
富 山 県 教 育 委 員 会 会 議 録

I 開会及び閉会の日時

令和8年1月20日(火)

開会午前10時00分、閉会午前10時17分

II 場所

県庁4階大会議室

III 出席委員

1番 大西 ゆかり

2番 松岡 理

3番 坪池 宏

4番 黒田 卓

5番 牧田 和樹

教育長 廣島 伸一

IV 説明出席者

理事・教育次長

小杉 健

教育次長・教育みらい室長

中崎 健志

教育次長

板倉 由美子

教育企画課長

森安 祐成

教育みらい室小中学校課長

木下 貴子

教育参事・教育みらい室県立高校課長

土肥 恵一

教育参事・教育みらい室特別支援教育課長

魚津 直美

教育みらい室県立高校改革推進課長

丸田 祐一

生涯学習・文化財課長

前川 秋人

教職員課長

安川 賢一

保健体育課長

五島 直樹

教育企画課課長(ICT教育推進担当)

五十嵐 佳美

教育みらい室課長(児童生徒支援担当)

岡本 一善

教育みらい室課長(夜間中学設置準備担当)

岩田 理恵子

生涯学習・文化財課課長(青少年・家庭成人教育担当)

河原 千里

保健体育課課長(食育安全担当)

松嶋 保子

V 傍聴人数 1人

VI 会議の要旨

午前10時00分、教育長が開会を宣する。

1 会議録の承認について

令和7年12月15日開催の令和7年第13回富山県教育委員会会議録の承認について
会議録閲覧

廣島教育長から可否を諮ったところ、全員異議なく承認した。

2 議決事項

議案第1号 博物館の登録に関する告示の件

生涯学習・文化財課長から説明し、原案のとおり可決した。

3 報告事項

(1) 令和7年3月県内中学校・義務教育学校卒業生進路状況調査結果及び令和7年3月県内高等学校卒業生進路状況調査結果について

教育みらい室県立高校改革推進課長から説明した。

4 今後の教育委員会等の日程について

教育企画課主幹から説明した。

5 議事

○報告事項(1)関係

〔松岡委員〕

- ・中学校卒業生の進路状況について質問したい。今、県立高校再編の議論の真っ最中だが、昨年、富山県の中学校を卒業して県外に行く人がどれだけいたのか、分かれば教えてほしい。

〔牧田委員〕

- ・2つ質問がある。1つ目は、中学校を卒業して進学も就職もしない人たちはどういうことをやっているのか。
- ・2つ目は、表4で教育系の学科に進んでいる学生の人数が記載されているが、富山県で実際に教員になった人はどれくらいいるのか。

〔教職員課長〕

- ・確認する。

〔牧田委員〕

- ・あえて調べなくてもよいが、データはないということか。

〔教職員課長〕

- ・そうだ。

〔教育長〕

- ・教員になるときに、特に高校の場合は教育学部でなくとも人文や工学等からも入ってきているので、有意な数字なのかは少し考えないといけないと思う。一方、小学校等の教員養成課程後にどうなったのかというのはあると思うので、そういったものを考えてやらないといけない数字かとは思ふ。

〔牧田委員〕

- ・今、人手不足になっていて教員のなり手もないということで、くさびを打ち込むとすれば、こういったファクトをつかんでおかないといけないと思う。

〔教育長〕

- ・おっしゃるとおりだと思う。教職員課にはまたそのような視点で見たい。

〔坪池委員〕

- ・大学は把握しているのではないか。大学のパンフレットで、学部ごとの就職が何人と出ていると思うが。

〔教育長〕

- ・いろいろと数字的に押さえてみれば、どこかにヒントみたいなものが出てくるのだと思う。

〔黒田委員〕

- ・いろいろな大学から教員採用試験を受けているが、富山大学から教員採用試験を受けている状況は分かる。

〔大西委員〕

- ・全国で教員採用試験を受ける人数が多い大学は分かるのか。

〔黒田委員〕

- ・それは一覧表がある。

〔教育みらい室県立高校改革推進課長〕

- ・松岡委員からの質問だが、中学校を卒業し、県外の高校等への進学者は391人である。

〔教育長〕

- ・表1の「高等学校等進学者」の8,434人の中の391人ということか。

〔教育みらい室県立高校改革推進課長〕

- ・そうだ。内訳としては、全日制の県外高校が179人で、そのうち、県外の国立や公立が25人、県外の私立が154人、また定時制・通信制が187人で、定時制が1人、通信制が186人、また高等専門学校が25人で、これら全てをあわせると391人となる。ただし、通信制の県外というのは県外に本部を置く通信制のことで、県内にキャンパスを置く高校も含むので、今ほどの187人の全員が県外ということではないと考えている。

- ・牧田委員からの質問の、中学校を卒業したその他54人については、家事手伝いや進学準備、就職準備等の状況である。

〔牧田委員〕

- ・なぜ引かなかったかというのと、卒業していく子どもが減っているのに、微増ながらこの層の人たちが増えている。これは何かあると思うので、注視をしてほしいというのが本意である。

〔教育長〕

- ・どういふものはまた注視をしていきたい。

〔黒田委員〕

- ・今の関連だが、高校の進学のところの表2で、通信制高校の人数が出てきていたかと思うが、今、全国的に見ると高校進学者の1割くらいいて、数年先は3割くらいまで増えるのではないかという話だ。この表は学校基本調査のベースでまとめていただいているかと思うが、広域通信制高校がこの数年でかなり増加しているのではないかと思うので、そのあたりの細かいところが見えるようにしておいたほうが、いろいろと考えやすくなると思う。

〔教育長〕

- ・また整理していきたい。

午前10時17分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。